



監査メッセージのカテゴリ

StorageGRID software

NetApp
December 03, 2025

目次

監査メッセージのカテゴリ	1
システム監査メッセージ	1
オブジェクトストレージ監査メッセージ	2
クライアント読み取り監査メッセージ	3
クライアント書き込み監査メッセージ	4
経営監査メッセージ	5
ILM監査メッセージ	5

監査メッセージのカテゴリ

システム監査メッセージ

システム監査カテゴリに属する監査メッセージは、監査システム自体、グリッド ノードの状態、システム全体のタスク アクティビティ (グリッド タスク)、およびサービス バックアップ操作に関連するイベントに使用されます。

コード	メッセージのタイトルと説明	詳細については、
ECMC	消失コード化データ フラグメントの欠落: 消失コード化データ フラグメントの欠落が検出されたことを示します。	"ECMC: 消失符号化データフラグメントの欠落"
ECOC	破損した消去符号化データ フラグメント: 破損した消去符号化データ フラグメントが検出されたことを示します。	"ECOC: 破損した消去符号化データフラグメント"
ETAF	セキュリティ認証に失敗しました: トランスポート層セキュリティ (TLS) を使用した接続試行が失敗しました。	"ETAF: セキュリティ認証に失敗しました"
GNRG	GNDS 登録: サービスがStorageGRIDシステム内で自身の情報を更新または登録しました。	"GNRG: GNDS登録"
グヌール	GNDS 登録解除: サービスがStorageGRIDシステムから登録解除されました。	"GNUR: GNDS 登録解除"
GTED	グリッド タスクが終了しました: CMN サービスはグリッド タスクの処理を終了しました。	"GTED: グリッドタスクが終了しました"
GTST	グリッド タスクが開始されました: CMN サービスがグリッド タスクの処理を開始しました。	"GTST: グリッドタスクが開始されました"
GTSU	グリッド タスクが送信されました: グリッド タスクが CMN サービスに送信されました。	"GTSU: グリッドタスクが送信されました"
LLST	場所の紛失: この監査メッセージは、場所が失われたときに生成されます。	"LLST: 位置情報が失われました"
オルスト	オブジェクトの損失: 要求されたオブジェクトがStorageGRIDシステム内に見つかりません。	"OLST: システムが紛失物体を検出しました"
サッド	セキュリティ監査の無効化: 監査メッセージのログ記録がオフになりました。	"SADD: セキュリティ監査の無効化"

コード	メッセージのタイトルと説明	詳細については、
サデ	セキュリティ監査の有効化: 監査メッセージのログ記録が復元されました。	"SADE: セキュリティ監査の有効化"
SVRF	オブジェクトストア検証失敗: コンテンツブロックが検証チェックに失敗しました。	"SVRF: オブジェクトストア検証失敗"
SVRU	オブジェクトストアの検証が不明です: オブジェクトストアで予期しないオブジェクトデータが検出されました。	"SVRU: オブジェクトストアの検証が不明です"
システム	ノード停止: シャットダウンが要求されました。	"SYSD: ノード停止"
システム	ノードの停止: サービスが正常な停止を開始しました。	"SYST: ノード停止"
シス	ノードの開始: サービスが開始されました。前回のシャットダウンの性質がメッセージに示されます。	"SYSU: ノード開始"

オブジェクトストレージ監査メッセージ

オブジェクトストレージ監査カテゴリに属する監査メッセージは、StorageGRIDシステム内のオブジェクトの保存と管理に関連するイベントに使用されます。これらには、オブジェクトの保存と取得、グリッドノード間の転送、検証が含まれます。



機能が廃止されると、監査コードは製品およびドキュメントから削除されます。ここに記載されていない監査コードが発生した場合は、このトピックの以前のバージョンで古いSGリリースを確認してください。例: "[StorageGRID 11.8 オブジェクトストレージ監査メッセージ](#)"。

コード	説明	詳細については、
ブロル	バケット読み取り専用要求: バケットが読み取り専用モードになったか、読み取り専用モードを終了しました。	"BROR: バケット読み取り専用リクエスト"
CBSE	オブジェクト送信終了: ソースエンティティがグリッドノード間のデータ転送操作を完了しました。	"CBSE: オブジェクト送信終了"
CBRE	オブジェクト受信終了: 宛先エンティティがグリッドノード間のデータ転送操作を完了しました。	"CBRE: オブジェクト受信終了"
CGRR	クロスグリッドレプリケーション要求: StorageGRIDは、グリッドフェデレーション接続内のバケット間でオブジェクトを複製するために、クロスグリッドレプリケーション操作を試行しました。	"CGRR: クロスグリッドレプリケーション要求"

コード	説明	詳細については、
EBDL	空のバケットの削除: ILM スキャナーは、すべてのオブジェクトを削除するバケット内のオブジェクトを削除しました (空のバケット操作を実行しています)。	"EBDL: 空のバケットの削除"
EBKR	空のバケットのリクエスト: ユーザーが空のバケットをオンまたはオフにするリクエスト (つまり、バケット オブジェクトを削除するか、オブジェクトの削除を停止するリクエスト) を送信しました。	"EBKR: 空のバケットリクエスト"
SCMT	オブジェクト ストア コミット: コンテンツ ブロックが完全に保存され、検証されたため、要求できるようになりました。	"SCMT: オブジェクトストアコミット要求"
SREM	オブジェクト ストアの削除: コンテンツ ブロックがグリッド ノードから削除されたため、直接要求できなくなりました。	"SREM: オブジェクトストアの削除"

クライアント読み取り監査メッセージ

S3 クライアント アプリケーションがオブジェクトの取得を要求すると、クライアント読み取り監査メッセージが記録されます。

コード	説明	使用者	詳細については、
S3SL	S3 Select リクエスト: S3 Select リクエストがクライアントに返された後の完了をログに記録します。 S3SL メッセージには、エラー メッセージとエラーコードの詳細が含まれる場合があります。リクエストが成功しなかった可能性があります。	S3クライアント	"S3SL: S3 選択リクエスト"
SGET	S3 GET: オブジェクトを取得したり、バケット内のオブジェクトを一覧表示したりするための成功したトランザクションをログに記録します。 注: トランザクションがサブリソースに対して実行される場合、監査メッセージにはフィールド S3SR が含まれます。	S3クライアント	"SGET: S3 ゲット"
シア	S3 HEAD: オブジェクトまたはバケットの存在を確認するために成功したトランザクションをログに記録します。	S3クライアント	"シア: S3ヘッド"
WGET	Swift GET: オブジェクトを取得したり、コンテナ内のオブジェクトを一覧表示したりするための成功したトランザクションをログに記録します。	Swiftクライアント	"WGET: Swift GET"

コード	説明	使用者	詳細については、
ウィー	Swift HEAD: オブジェクトまたはコンテナの存在を確認するために成功したトランザクションをログに記録します。	Swiftクライアント	"WHEA: Swift HEAD"

クライアント書き込み監査メッセージ

S3 クライアント アプリケーションがオブジェクトの作成または変更を要求すると、クライアント書き込み監査メッセージが記録されます。

コード	説明	使用者	詳細については、
オーバーブレイカー	オブジェクトの上書き: あるオブジェクトを別のオブジェクトで上書きするトランザクションを記録します。	S3 および Swift クライアント	"OVWR: オブジェクトの上書き"
SDEL	S3 DELETE: オブジェクトまたはバケットを削除する成功したトランザクションをログに記録します。 注: トランザクションがサブリソースに対して実行される場合、監査メッセージにはフィールド S3SR が含まれます。	S3クライアント	"SDEL: S3 削除"
スポス	S3 POST: AWS Glacier ストレージからクラウド ストレージ プールにオブジェクトを復元する成功したトランザクションをログに記録します。	S3クライアント	"SPOS: S3 ポスト"
吐き出す	S3 PUT: 新しいオブジェクトまたはバケットを作成するための成功したトランザクションをログに記録します。 注: トランザクションがサブリソースに対して実行される場合、監査メッセージにはフィールド S3SR が含まれます。	S3クライアント	"スプット: S3 プット"
SUPD	S3 メタデータの更新: 既存のオブジェクトまたはバケットのメタデータを更新する成功したトランザクションをログに記録します。	S3クライアント	"SUPD: S3 メタデータが更新されました"
WDEL	Swift DELETE: オブジェクトまたはコンテナを削除する成功したトランザクションをログに記録します。	Swiftクライアント	"WDEL: 迅速な削除"
WPUT	Swift PUT: 新しいオブジェクトまたはコンテナを作成するための成功したトランザクションをログに記録します。	Swiftクライアント	"WPUT: Swift PUT"

経営監査メッセージ

管理カテゴリは、管理 API へのユーザー リクエストを記録します。

コード	メッセージのタイトルと説明	詳細については、
MGAU	管理 API 監査メッセージ: ユーザー リクエストのログ。	"MGAU: 経営監査メッセージ"

ILM監査メッセージ

ILM 監査カテゴリに属する監査メッセージは、情報ライフサイクル管理 (ILM) 操作に関連するイベントに使用されます。

コード	メッセージのタイトルと説明	詳細については、
アイデル	ILM による削除の開始: この監査メッセージは、ILM がオブジェクトの削除プロセスを開始したときに生成されます。	"IDEL: ILM による削除開始"
LKCU	上書きされたオブジェクトのクリーンアップ。この監査メッセージは、上書きされたオブジェクトが自動的に削除され、ストレージ領域が解放されたときに生成されます。	"LKCU: 上書きされたオブジェクトのクリーンアップ"
オーム	オブジェクト ルールが満たされました: この監査メッセージは、オブジェクト データが ILM ルールで指定されたとおりに保存されたときに生成されます。	"ORLM: オブジェクトルールが満たされました"

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。